

浪速区運営方針の改定履歴

改定年月	変更内容	備考
平成 30 年 5 月	<p>【様式 1】</p> <p>＜区の使命＞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来を担う子どもたちの<u>教育環境を整備する。</u>」を「<u>子育て・教育環境を整備する。</u>」へ変更した。 <p>＜区運営の基本的な考え方＞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>限られた財源の中、区で実施する基礎自治行政に関する施策を除き、これまで区役所と民間で協働して実施してきた事業については、順次、民間単独による事業実施へと移行するとともに、経常経費の削減や区民サービスの向上に努めるなど、効果的で効率的な行財政運営を推進する。</u>」を「<u>区民サービスの向上や経常経費の削減に努めるなど、効果的で効率的な行財政運営を推進する。</u>」へ変更した。 	区長の意見により変更
平成 30 年 5 月	<p>【様式 2】 経営課題 1</p> <p>＜現状＞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浪速区街頭犯罪発生件数」の平成 20 年データを削除し、平成 29 年データを追加するとともに、「人口 100 人当たりの年間街頭犯罪発生件数」のグラフを新たに追加した。また、「南海難波駅周辺、JR 難波駅・桜川駅周辺、日本橋周辺放置自転車台数」のグラフを「浪速区内駅周辺放置自転車台数」のグラフへ変更した。 <p>＜要因分析＞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防犯活動の実施などにより、街頭犯罪件数は平成 20 年から減少してきているが、<u>いまだ高水準であり、深夜帯の取り組みなど地域の防犯活動には限界がある。</u>」を「防犯活動の実施などにより、街頭犯罪件数は、<u>ここ数年減少傾向にあるが区内の犯罪発生</u> 	区長の意見により変更

	<p>率は、いまだ高水準である。」へ変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のコミュニティが育成されにくい状況であることから、自主防災組織の形成及び防災意識の醸成を図ることが困難である。」を「区民の転出入率が高いことから、転入者等の自主防災組織への参画や、マンション住民等の地域防災意識の醸成・啓発が進んでいない。」へ変更した。 	
平成 30 年 5 月	<p>《めざす成果及び戦略 1-1》</p> <p>＜アウトカム＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 33 年度までに、区民アンケートによって、以前よりも防犯に関する意識をもったと感じている区民の割合 60% 以上」を「平成 33 年度区民アンケートにおいて、以前よりも防犯に関する意識をもったと感じている区民の割合 60% 以上」へ変更した。 ・「平成 33 年度までに、区民と協働で落書き消去活動に取り組む件数」を具体的取組 1-1-1 の業績目標へ設定変更し、具体的取組 1-1-1 の業績目標「以前より落書きが減ったと感じている区民の割合 (区民アンケート)」をアウトカムへ設定変更した。 <p>＜具体的取組 1-1-2 の取組内容＞について、進捗管理を行う過程で、取り組みの見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたたくり防止に関する啓発活動を追加した。 <p>《めざす成果及び戦略 1-2》</p> <p>＜アウトカム＞について、進捗管理を行う過程で、対策の変更が生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「区内自転車放置禁止区域内の放置自転車台数を平成 32 年度までに 15% 減少させる」を「区内自転車放置禁止区域内における駅周辺の放置自転車台数を平成 33 年度までに 15% 減少させる。」へ変更した。 	進捗状況により変更

	<p><具体的取組 1-2-1>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容に対応する業績目標とするため「駐輪場利用率 80%以上をめざす」及び前年度実績を追加した。 <p>《めざす成果及び戦略 1-3》</p> <p><アウトカム>について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 33 年度までに、災害時の避難場所を把握している区民の割合」を「平成 33 年度区民アンケートにおいて、災害時の避難場所を把握している区民の割合」へ変更した。 <p><具体的取組 1-3-1（啓発関係）>及び<1-3-2（訓練関係）>について、進捗管理を行う過程で取組を明確にするため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組 1-3-1 の業績目標の 1 つ「小学校と連携し、登校時の津波避難ビルへの避難訓練実施」を整理し、具体的取組 1-3-2 の取組内容「小学校と連携し、<u>保護者と一緒に登校時の津波避難ビルへの避難訓練を実施する</u>」として移行した。 ・具体的取組 1-3-1 の取組内容へ業績目標「家庭で備蓄をしている人の割合」に対応する取組「各種イベントや広報媒体を活用し、家庭での備蓄の重要性を啓発する」を追加した。 ・具体的取組 1-3-2 の業績目標「各種防災訓練の実施 15 回、訓練参加者 1,300 人以上」を「各種防災訓練の実施 15 回」へ変更した。 	
平成 30 年 5 月	<p>【様式 2】 経営課題 2</p> <p><現状>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数及び 6 歳人口について、データを更新し、平成 30 年 4 月保育施設一斉入所状況の表を追加した。 	進捗状況により変更

<要因分析>について

- ・「平成 30 年 4 月開設の保育施設が 3 か所あったため待機児童は平成 30 年 4 月時点で 0 名となった。」を追加した。

<課題>について

- ・「児童虐待を未然に防止するためには、妊娠期から出産、学齢期まで切れ目なく、虐待ハイリスク家庭を早期に把握し、支援につなげることが重要である。異動の多い当区においては、母子保健法に基づく 3 歳児健診終了後、就学時（5 歳児）の健康診断までの間で全体の状況把握が必要である。」と一部表現の追加をした。

《めざす成果及び戦略 2-1》

<アウトカム>について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、

- ・目標年度及びめざす状態を「平成 31 年度末まで待機児童 0 を解消する。」を「平成 33 年度末まで待機児童 0 を維持する。」へ、「平成 31 年度末まで「地域子育てサロン」利用者数を前年度比で 5%アップを目指す。」を「平成 33 年度末まで「地域子育てサロン」利用者数は年間 700 組の維持を目指す。」へ、「平成 31 年度末まで虐待等における重篤ケースゼロを維持する。」を「平成 33 年度末まで虐待等における重篤ケースゼロを維持する。」へ変更した。

<具体的取組 2-1-1 の業績目標>について、

- ・保育施設の開設は、営業開始の時点か事業者決定時点か判然としないため削除した。

<具体的取組 2-1-3 の業績目標>について、

- ・「区役所つどいのひろばの利用者アンケートで「満足している」という回答率が 29 年度実績を上回る」を「区役所つどいのひろばの利用者アンケートで「とても満足している」という回答率 70%を目指す。」へ「子育てサロン利用者 年間 685 組以上 (28

	<p><u>年度実績 5%上積み</u>」を「子育てサロン利用者 年間 <u>700組以上 (29年度実績並み)</u>」へ変更した。</p>	
平成 30 年 5 月	<p>【様式 2】 経営課題 3</p> <p>《めざす成果及び戦略 3-1》</p> <p>＜めざす状態＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが自分の将来の夢や目標を持ち、<u>積極的に学習に取り組んでいる状態。</u>」を「子どもが自分の将来の夢や目標を持ち、<u>学習習慣が定着している状態。</u>」へ変更した。 <p>＜アウトカム＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 31 年度末までに将来の夢や目標をもっていないと答える小学 5 年生の割合 <u>6.7% 以下</u>」を「平成 33 年度末までに、小学校 5 年生授業時間以外の勉強時間について「まったくしない」「30 分より少ない」児童の割合を半減（13%）する。」へ変更した。 <p>＜戦略＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習習慣の定着を図るための事業を、児童が参加しやすい場所で実施し、学習力の底上げを図る。」を「児童が、将来の夢や目標を持ち、積極的に学習に取り組むよう、児童の学習習慣が定着する事業や知的好奇心を刺激する様々な体験学習プログラムを実施する。」へ変更した。（様式 1 についても同様に変更した。） <p>＜具体的取組 3-1-1 の業績目標、撤退基準及び前年度までの実績＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習習慣が定着していないと思われる児童の事業利用 <u>80%以上</u>」を「小学校 5 年生授業時間以外の勉強時間について「まったくしない」「30 分より少ない」児童の割合 <u>23% 以下（3%減）とする</u>」へ、「上記取組が <u>70%以下</u>の場合は、児童を本事業につなぐ仕組みの再検討を行う。」を「上記取組の結果、小学校 5 年生授業時間以外の勉強時間について「まったくしない」「30 分より少ない」児童の割合 <u>24.5%以上（1.5%減以下）</u> 	進捗状況により変更

	<p>の場合、再検討を行う」へ変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度までの実績に「(平成 28 年度) こどもの生活に関する実態調査「まったくしない」 8.9%、「30 分より少ない」 17.0%」を追加した。 <p>《めざす成果及び戦略 3-2》</p> <p>＜アウトカム＞について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標年度を「平成 32 年度までに」を「平成 33 年度までに」へ変更した。 <p>＜具体的取組 3-2-1 【中学生学習習慣定着支援事業】と 3-2-2 【民間事業者を活用した課外学習支援事業（なにわ塾）】＞について、</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象とした同じような事業のため、統合し 3-2-1 【中学生学習習慣定着支援事業（なにわ学び教室）】とした。 	
平成 30 年 5 月	<p>【様式 2】経営課題 4</p> <p>＜めざすべき将来像＞について、</p> <ul style="list-style-type: none"> 「区民が自主的・主体的に活動主体として地域運営に参画する気運が高く、あらたな「つながり」、「きずな」を築くなど、地域力が強化されている状態。」から「活動主体として」を削除した。 <p>＜現状＞について、</p> <ul style="list-style-type: none"> 「浪速区民アンケート（平成 29 年度）」を「平成 29 年度浪速区民アンケート（区実施分）」へ表記の変更をした。 <p>＜課題＞について、</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動への理解促進と担い手の確保について、「市民、NPO、企業などの様々な活動主体が互いに協働し、これらの主体と行政とが協働するマルチパートナーシップ（多様な協働）の実現を目指し、市民活動への理解をより一層促進するとともに、地域活 	区長の意見により変更

	<p>動の担い手の確保が必要である。」を「幅広い世代の住民参加など新たな「つながり」が生まれ始めていることを捉え地域活動の担い手となりうる層への積極的な働きかけや、永続的な組織運営体制の構築を支援する必要がある。」へ変更した。</p> <p>《めざす成果及び戦略4-1》 くめざす状態>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運が醸成され、地域活動協議会などによる地域活動が活発に行われている状態。」を「区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運が高く、地域活動協議会などによる地域活動が活発に行われている状態」へ変更した。 	
平成 30 年 5 月	<p>《めざす成果及び戦略4-1》 くアウトカム>について、進捗管理を行う中で見直しが生じたため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 33 年度区民アンケートにおいて、「身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合」について、平成 30 年度と比して 20%向上させる。」を「平成 33 年度区民アンケート（市民局実施分）において、「身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合」を 43.3%以上とする。（H29 年度実績 33.3%）」へ変更した。 <p>く具体的取組4-1-1の取組内容>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティづくりの意識啓発を図るため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。」を「地域コミュニティ事業について、新たな住民層の参画を促し、あらゆる世代のコミュニティづくりの場とするため、区ホームページ、区フェイスブックや区ツイッターなど SNS を活用し、広く参加を呼びかける。」へ変更した。 	進捗状況により変更

	<p><具体的取組 4-1-4 の取組内容>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>地域活動協議会の役員や構成団体の方をはじめ地域住民の理解が深まるよう引き続き機会あるごとに積極的に発信する。</u>」を「<u>地域活動協議会の役員や構成団体の方を対象に開催する講演会・勉強会等の場で、地域活動協議会に求められている準行政的機能に関する説明を行う。</u>」へ変更した。 	
平成 30 年 5 月	<p>【様式 3】 取組項目 2</p> <p><取組の内容>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の住民などからの相談について福祉のサービスにつないだり、地域福祉にかかる課題把握を行いながら、その地域に応じた取り組みにより課題解決をめざす。」を「各地域に災害時要援護者名簿を提供し、各地域に応じた見守り活動を開始する。」へ、「見守り活動体制の構築を支援する。」を「見守り活動、つながりづくりを進める中で福祉課題をつかみ、地域福祉ビジョンの作成につなげる。」へ変更した。 <p><目標>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域に応じた見守り活動を 3 地域以上で開始」を追加した。また、市政改革プラン 2.0（区政編）に基づく目標として、数値目標を【平成 30 年度】34%⇒36%へ、【平成 31 年度】35%⇒39%へ変更した。 	区長の意見及び H29 市政改革プラン 2.0（区政編）の振返りにより変更
平成 30 年 5 月	<p>【様式 3】 取組項目 3</p> <p><取組内容>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域イベント等への参加の呼びかけを、<u>I T</u>の活用等により効果的に行う。」を「地域イベント等への参加の呼びかけを、<u>区 SNS</u>の活用等により効果的に行う。」へ変更した。 ・「併せて、学生ボランティアとのマッチング等、担い手の拡大に向けた継続的な取り組みを支援する。」「C B/S B 化、社会的ビジネス化に向けた支援を行う。」を削除し「地 	区長の意見により変更

	域担当が町会長会議や地域イベント等の地域活動へ参画し情報収集を行う。」へ変更した。	
平成 30 年 5 月	【様式 3】 取組項目 4～7 ・ 市政改革プラン 2.0（区政編）に基づく（目標）以外の目標は取組の内容へ移行した。	区長の意見により変更
平成 30 年 5 月	【様式 3】 取組項目 1 1・1 2・1 5 ・ 市政改革プラン 2.0（区政編）に基づき、（取組の内容）を変更した。	H29 市政改革プラン 2.0（区政編）の振返りにより変更
平成 30 年 5 月	【様式 4】 番号 3・4・8～1 2・1 4 ・ 進捗管理を行う中で見直しが生じたため変更した。	進捗状況により変更
平成 30 年 9 月	【様式 3】 取組項目 1 ・ 確定した平成 29 年度収納率 80.87%に、平成 30 年度全市目標収納率 89.30%と平成 29 年度全市収納率 89.16%との差 0.14%を加え、平成 30 年度目標収納率を 81.01%に修正した。	進捗状況により変更